

# 教育・情報

2014  
No. 4

Educational information

【特集】

02. 学校を生き生きとした人間教育の場に

—特別の教科「道徳」を起爆剤にして—

昭和女子大学大学院 押谷由夫

04. 人権の視点と道徳教育

—国際的な市民性教育の文脈の中で—

大阪大学大学院 平沢安政

06. 発信! 北から南から

健やかな心と体の育成

—「いのちの教育」の取組—

富山県教育委員会

08. クローズアップ! 教育の現場

他国を尊重し、国際社会の平和と発展や  
環境の保全に貢献する心を養う研究

宇和島市立城南中学校 是澤祐二

特集

## 道徳教育を考える

日本文教出版Webサイト

最新情報はここから→ 日文

検索

# 学校を生き生きとした人間教育の場に — 特別の教科「道徳」を起爆剤にして —

昭和女子大学大学院教授

押谷 由夫

## 1 道徳教育は平和な国づくりの根本

道徳教育が、いよいよ動き出します。と言いますと、警戒心を持つ人がいます。

では、お聞きします。戦後のわが国は、日本国憲法において、世界の平和と人類の福祉に貢献できる国づくりを、世界に向かって高々と宣言しました。それをどのように実現していくのでしょうか。いうまでもなく、国民一人一人の自覚と実践によつてです。そのためには、一人一人の生き方に問いかける指導が不可欠です。それが、道徳教育です。日本は民主主義国家です。過去の過ちを繰り返さないためにも、生き方の根幹を育む道徳教育を中核として教育を確立しなければならないのです。

平成18年に改正された教育基本法は、そのことを明確に示しています。国民一人一人が生涯にわたって人格を磨き、そのことによって豊かな人生を送ることができるような教育のあり方を提案しています。豊かな人生とは、幸せな一生であり、共に幸せに生きられる社会を創ることです。その根幹に人格の形成・錬磨があるというのです。その人格の基盤が道徳性であり、その道徳性の育成を計画的・発展的に行うのが道徳教育なのです。そして、その要に道徳の時間が位置づけられているのです。

## 2 特別の教科「道徳」提案の意図

では、その道徳の時間が学校現場において機能しているのでしょうか。確かに、道徳の時間を学校ぐるみで取り組んでいる学校はありますし、そこでは確実に成果を上げています。しかし、ほとんどの先生方が、学校間格差や教師間格差に気づかれています。必ずです。

教育の根幹を担う道徳教育がそのような状況でいいのでしょうか。何とか改善を図らねばなりま

せん。その大きな対応策として道徳の教科化が提案されるようになりました。

道徳の教科化ありきではないのです。道徳教育を充実させ、学校教育の本来の役割を果たせるようにするには、どうしても要となる時間の充実が不可欠だということです。いじめなどの子どもたちの問題行動の多発もこのことに起因していると捉えます。そして同時に、教科化することによって、様々な充実方策を行うことができます。例えば、教科書の発行や予算の確保、指導者及び指導者養成の充実、評価観の改善などです。

しかし、懸念も考えられます。教科にすることによって、他の教科と同様に知識理解や実践指導を重視した授業になるのではないかと。教科書を使うことで今まで開発してきた資料が使えなくなるのではないかと。免許を持った教師だけの指導になってしまうのではないかと。点数による評価が行われるのではないかと、等々。これらは道徳教育の根幹にかかわる問題でもあります。こういった懸念を払しょくするためにも、特別の教科「道徳」という名称が提案されているのです。

## 3 特別の教科「道徳」は どのようなものか

そもそも道徳教育は、一般に言われる教科とは異なります。教科はそれぞれに専門分化したものです。道徳教育は総合されたものです。道徳教育の要である道徳の時間も同様です。したがって、道徳は、各教科全体を包み込んで人間として生きる根幹となる道徳的価値の自覚を計画的・発展的に図るという意味で特別の教科なのです。そのために、どのようなものにしていくべきなのか。道徳の時間の実態をも考慮しながら考えていく必要があります。

## 目標

まず、目標です。特別の教科「道徳」は、道徳の時間と同様、各教科等における道徳教育を補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚を深めて道徳的実践力を育成する。つまり、従来以上に各教科等との連携を強化した指導を工夫する。また、基本的な道徳的価値意識を育み、その視点から自分をしっかり見つめ、未来に希望を託しながら課題を見だし、向上していこうとする意欲を育むのです。そして、各教育活動や日常生活の中に生かされていくように取り組んでいく。それが、全教育活動における道徳教育ということになります。

## 教科書

次に、教材についてです。授業を充実させるには教材が不可欠です。しっかりとした教科書を子どもたちに持たせるべきです。ただし、道徳の授業においては、子どもたちの興味や、指導の内容、学校や教師の意図を反映した資料の開発が重要です。それらも道徳の授業で使えるようにしなければなりません。私は、道徳の教科書は、3分の2は年間指導計画に位置づけるが、残りの3分の1は学校独自に資料選択をして授業を行うというようにすべきだと思います。それと同時に、ワークシートやノートの開発も重要です。

## 指導者

次に、誰が指導するかです。現在の道徳の時間と同様に、学級担任が中心となって全教職員が協力して取り組めるようにする必要があります。特に校長や副校長（教頭）は、すべてのクラスの道徳の授業に1回は参加することを義務付けたいです。

さらに、道徳授業の質の向上を図るためには、道徳授業をサポートできる教員の配置が必要です。道徳教育推進リーダー教師を、新たに任命して、複数の学校の道徳教育や授業を指導する教員の配置が計画されています。

## 評価

道徳の評価は、教育の本質と連動します。子どもたちは誰もがよりよく生きようとしています。その姿をしっかりと観察し記述式で知らせるので、つまり、道徳の評価は、よりよく生きるための根幹となる道徳的価値についてそれぞれに伸ばしている部分を子どもたちに知らせ、勇気づけ、それらを自ら伸ばしていこうと取り組んでくれる

子どもたちを育てるためのものなのです。道徳の授業を通して、基本的な道徳的価値にかかわって、道徳的心情や、道徳的判断力、実践意欲や態度がどのように成長しているかをしっかりと観察することが求められるのです。

## 4 特別の教科「道徳」への願い

道徳教育は、子どもたちの未来やこれからの社会を、明るく希望に満ちたものにしていくものでなければなりません。基本的な道徳的価値を窓口として、互いに励まし合い、助け合って、それらを共に発展させ、高めていけるようにいくのが特別の教科「道徳」なのです。

特別の教科「道徳」が教育課程にしっかりと位置づけられ機能するようになることによって、学校教育が人間教育の場となっていきます。それは、学校の本来の姿でもあります。そのような学校づくりには、保護者や地域の人々も積極的に参画してください。

そのことに夢を託して、共に頑張っていこうではありませんか。



### 著者プロフィール



● 押谷 由夫（おしたに よしお）

昭和女子大学大学院教授・放送大学客員教授  
1952年滋賀県生まれ。広島大学大学院卒業（教育学博士）、高松短大、高知女子大学、文部省・文部科学省、国立教育政策研究所等を経て、現職。日本道徳教育学会会長、小さな親切運動本部顧問。現在文部科学省「道徳教育の充実に関する懇談会」の副座長を務めている。

# 人権の視点と道徳教育

## — 国際的な市民性教育の文脈の中で —

大阪大学大学院人間科学研究科

平沢 安政

### 道徳をめぐる経緯

1958年(昭和33年)に「道徳の時間」が特設されて以来、それが戦前の「修身」復活を想起させる形で行われたために、道徳と人権を相互に相容れないものであるかのように認識する傾向が根強く存在してきた。また、2013年に誕生した安倍政権のもとで、いじめ・体罰の防止だけでなく、ナショナリズムや愛国心の育成と結びつけて道徳教育の強化が議論されていることから、人権教育を推進してきた人々がこのような動向に警戒心をもっている現状もある。

しかし、道徳は「人の生きる道」を示したものであり、人権はだれもが幸せに生きるための権利であることを考えると、道徳と人権の視点は、そもそも対立するものではないはずだ。例えば、日本の学校教育における人権教育のガイドラインを理論的・実践的に提示した文科省の「人権教育の指導方法の在り方【第三次とりまとめ】」(2008年3月)においても、道徳への言及が各所で行われ、人権感覚の育成や人権教育の価値・態度の側面に関わるものとして重視されている。また、日本道徳教育学会は、2010年11月に京都で開催した研究大会において「道徳と人権」を大会テーマに掲げ、道徳教育と人権教育の関係について意見交換を行った。学校現場の教育実践を見ても、「障害者や高齢者の施設を訪問し、交流活動を行った」取り組みが、ある学校では道徳教育の実践として報告され、別の学校では人権教育の実践として報告されていたりすることも多い。さらに、道徳教育と人権教育のいずれについても、「教育活動全体を通じて取り組む」とされていることから、担当教員の役割、教材や指導方法の在り方、年間指導計画の立て方など、さまざまな点で共通する事項がある。

このように道徳教育と人権教育の間には重なりあう部分が数多くあるにもかかわらず、両者の協働(コラボ)や相互の関係性を整理する作業は、あまり進んでこなかったように思われる。

### 道徳と市民性教育

他方、国際的な流れを見ると、道徳性が市民性の重要な構成要素として位置づけられている。例えば2002年からイギリスの中等教育で必修化された「市民科(citizenship)」においては、道徳的・社会的責任が、政治的教養やコミュニティへの参加とともに3本柱のひとつになっており、批判的・分析的思考力や社会参加のスキルなど、人権教育が重視してきた資質や力とともに、市民性・市民力の土台を形作るものとされている。また、1980年代以降、移民をはじめとする各種の社会的マイノリティ集団に焦点をあてながら、共生社会の実現を目指して世界的に広がってきた多文化教育・多文化共生教育の領域においても、社会の多様性を活力とするような市民性教育への進化が重要なテーマになりつつあり、グローバル化と多文化化が急速に進展する現代社会を生きるために必要な価値観や態度を養うものとして、道徳教育がとらえられるようになってきた。

以上のことから、日本の道徳教育の在り方について、人権の視点からあらためてとらえ直すとともに、国際的な市民性教育の文脈で課題を整理することが、今求められている。その際、日本の教育がこれからどのような人材を育てようとしているのか、またどのような資質や力を育もうとしているのかについても正確に把握しておく必要がある。

### 道徳と学力

2008年12月に中央教育審議会から出された「学力答申」(「学士課程教育の構築に向けて」)は、「未来の社会を支え、より良いものとする『21世紀型市民』を幅広く育成する」ことを目標として掲げた。これは、大学教育における教育目標を示したものであるが、そこで「21世紀型市民」が身につけておくべき資質や能力として例示されている「自己管理能力」「多文化理解」「倫理観・社会的責任」「問題解決能力」等は、初等・中等教育にお

# 人権の視点と道徳教育

## — 国際的な市民性教育の文脈の中で —

大阪大学大学院人間科学研究科

平沢 安政

### 道徳をめぐる経緯

1958年(昭和33年)に「道徳の時間」が特設されて以来、それが戦前の「修身」復活を想起させる形で行われたために、道徳と人権を相互に相容れないものであるかのように認識する傾向が根強く存在してきた。また、2013年に誕生した安倍政権のもとで、いじめ・体罰の防止だけでなく、ナショナリズムや愛国心の育成と結びつけて道徳教育の強化が議論されていることから、人権教育を推進してきた人々がこのような動向に警戒心をもっている現状もある。

しかし、道徳は「人の生きる道」を示したものであり、人権はだれもが幸せに生きるための権利であることを考えると、道徳と人権の視点は、そもそも対立するものではないはずだ。例えば、日本の学校教育における人権教育のガイドラインを理論的・実践的に提示した文科省の「人権教育の指導方法の在り方【第三次とりまとめ】」(2008年3月)においても、道徳への言及が各所で行われ、人権感覚の育成や人権教育の価値・態度の側面に関わるものとして重視されている。また、日本道徳教育学会は、2010年11月に京都で開催した研究大会において「道徳と人権」を大会テーマに掲げ、道徳教育と人権教育の関係について意見交換を行った。学校現場の教育実践を見ても、「障害者や高齢者の施設を訪問し、交流活動を行った」取り組みが、ある学校では道徳教育の実践として報告され、別の学校では人権教育の実践として報告されていたりすることも多い。さらに、道徳教育と人権教育のいずれについても、「教育活動全体を通じて取り組む」とされていることから、担当教員の役割、教材や指導方法の在り方、年間指導計画の立て方など、さまざまな点で共通する事項がある。

このように道徳教育と人権教育の間には重なりあう部分が数多くあるにもかかわらず、両者の協働(コラボ)や相互の関係を整理する作業は、あまり進んでこなかったように思われる。

### 道徳と市民性教育

他方、国際的な流れを見ると、道徳性が市民性の重要な構成要素として位置づけられている。例えば2002年からイギリスの中等教育で必修化された「市民科(citizenship)」においては、道徳的・社会的責任が、政治的教養やコミュニティへの参加とともに3本柱のひとつになっており、批判的・分析的思考力や社会参加のスキルなど、人権教育が重視してきた資質や力とともに、市民性・市民力の土台を形作るものとされている。また、1980年代以降、移民をはじめとする各種の社会的マイノリティ集団に焦点をあてながら、共生社会の実現を目指して世界的に広がってきた多文化教育・多文化共生教育の領域においても、社会の多様性を活力とするような市民性教育への進化が重要なテーマになりつつあり、グローバル化と多文化化が急速に進展する現代社会を生きるために必要な価値観や態度を養うものとして、道徳教育がとらえられるようになってきた。

以上のことから、日本の道徳教育の在り方について、人権の視点からあらためてとらえ直すとともに、国際的な市民性教育の文脈で課題を整理することが、今求められている。その際、日本の教育がこれからどのような人材を育てようとしているのか、またどのような資質や力を育もうとしているのかについても正確に把握しておく必要がある。

### 道徳と学力

2008年12月に中央教育審議会から出された「学力答申」(「学士課程教育の構築に向けて」)は、「未来の社会を支え、より良いものとする『21世紀型市民』を幅広く育成する」ことを目標として掲げた。これは、大学教育における教育目標を示したものであるが、そこで「21世紀型市民」が身につけておくべき資質や能力として例示されている「自己管理能力」「多文化理解」「倫理観・社会的責任」「問題解決能力」等は、初等・中等教育にお



## 健やかな心と体の育成 —「いのちの教育」の取り組み—

富山県教育委員会

### 一人一人がよりよく生きようとする姿を願って

富山県では、子どもたち一人一人が生まれてよかったと実感できるよう、学校と家庭・地域が連携して「いのちの教育総合支援事業」に取り組んでいます。具体的には、いのちの先生による「いのちの授業」の実施、「いのちのメッセージカード」の発信、いのちの教育講演会の開催等を行っています。また、これまでにいのちの教

育リーフレット(学校版、家庭版)を配布し、「いのちの教育」の普及に努めています。

「いのちの教育」は特別な教育ではありません。日々のさまざまな授業の中で子どもたちや教師等が「いのち」を意識し、感じる、一瞬一瞬を積み上げていくためのものです。

### 学校におけるいのちの教育

#### ① いのちの授業

医師や看護師・助産師など、いのちとかわる仕事をしている方、障害をもちながらもスポーツや社会活動に参加して輝いている方などを「いのちの先生」として学校に招き、「生命」や「生き方」に関する体験等をお話しいただいています。



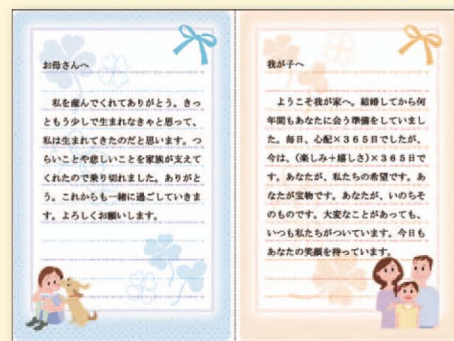
#### 「いのちの授業」に参加しての感想

- 少しずつ大きくなっていく赤ちゃんの模型と確かな心臓の音からは、一生懸命に生きようとする赤ちゃんの強い意志が感じられました。(中1女子)
- 赤ちゃんは大きくなると、うごいておなかをキックします。ぼくもお母さんのおなかをキックしたそうです。でもお母さんは、元気なキックをよろこんでいたそうです。(小4男子)
- 今日、家に帰ったら久しぶりに子どもをギュッと抱きしめたいと思いました。(保護者)
- 出産を思い出して子どもを愛おしく感じました。人はいのちによって受け継がれていくのですね。(保護者)

#### ② いのちのメッセージカード

家族やお世話になった地域の方に、「いのちの授業」で感じた、いのちの大切さや感謝の気持ちを「いのちのメッセージカード」に書いて発信しています。メッセージカードをもとに家族や地域の方との交流を図り、子どもたちが「いのちってすばらしい」と深く実感できることを願っています。(平成22年度 2万枚配布)

いのちのメッセージカードの記入例



「いのちの言葉」に寄せられたメッセージ例

#### ③ いのちの教育ホームページ

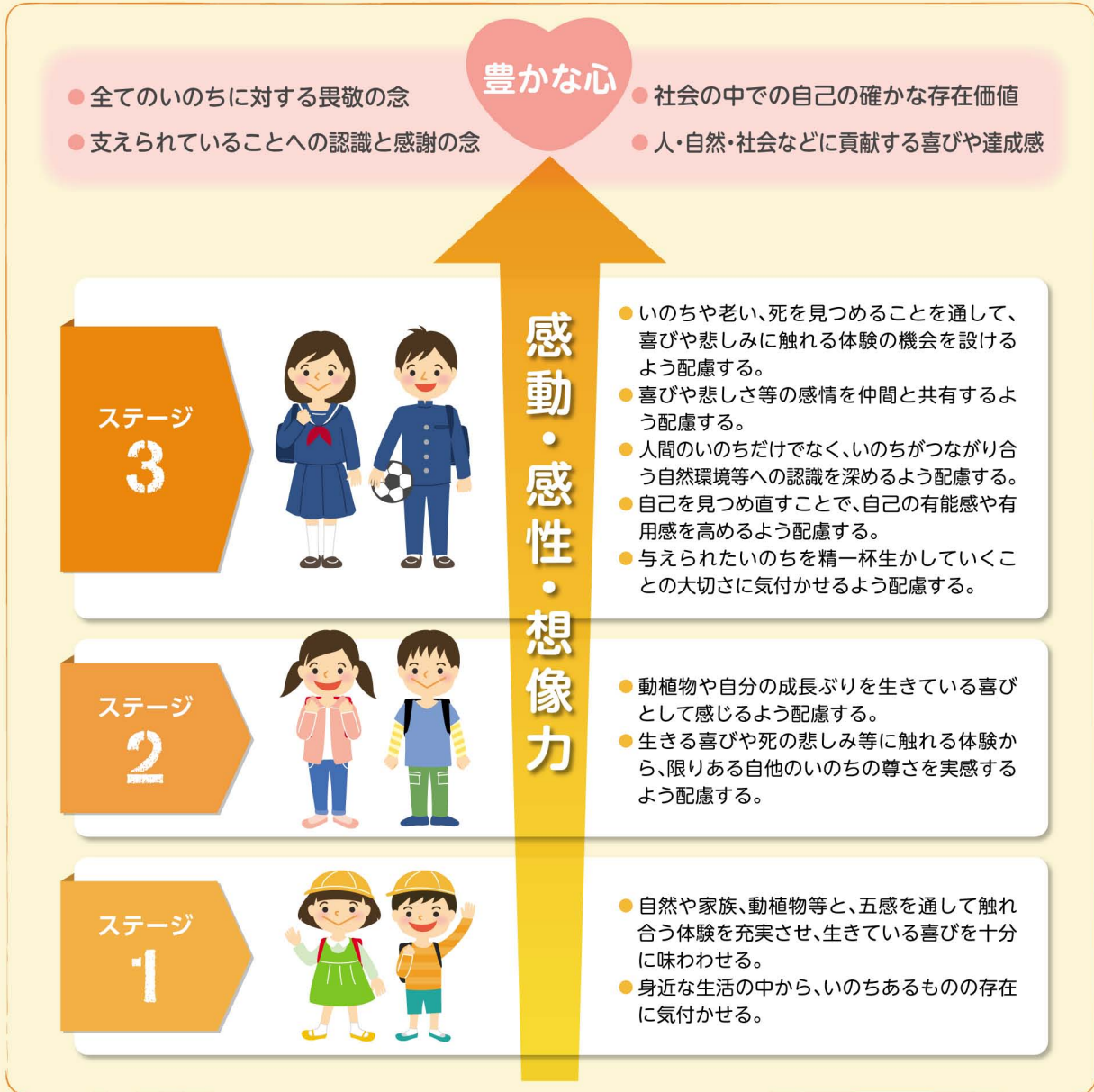
<http://life.el.tym.ed.jp/cms>

このホームページでは、富山県の子どもたちが、いのちの授業の中で味わったさまざまな感動を伝えています。また、いのちの本(絵本)の紹介などもしています。



## 発達段階に応じた指導

学校、家庭、地域が一体となった、一人一人の児童生徒が生まれてよかったと実感できる「いのちの教育」の推進。



## いのちを見つめる窓口の例

### 私の中のいのちを見つめて二つとないいのち

- 「できた」「分かった」「やり遂げた」という体験
- 読書や表現活動に浸る体験
- 自然の不思議さや美しさ等を感じ味わう体験

### 私と周囲のいのちとのつながりを見つめてつながり合ういのち

- ほめられたり認められたりする喜びや、それを与える体験
- 仲間との連帯感や感動を共有する体験
- いのちの誕生に触れる体験

### いのちそのものを見つめて限りあるいのち

- 身近な人や動物等の死と出会う体験
- 様々な障害を乗り越え、夢をもって生きる人との出会い体験

# 他国を尊重し、国際社会の平和と 発展や環境の保全に貢献する心を養う研究

愛媛県宇和島市立城南中学校 校長 是澤 祐二

本校は、平成24・25年度の二年間にわたり、文部科学省「道徳教育総合支援事業」の一環として、愛媛県教育委員会から「特色ある道徳教育推進事業」の指定を受けて研究をしております。「他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献する心を養う研究」と題した取組の一端をご紹介します。

## 1年次の取組 互いを認め合い、支え合い、協力する態度の育成

1年次は、手探りながら、道徳の時間や各教科の学習の充実を図るとともに、道徳性を育む様々な体験活動を実施しました。特に、体育祭や合唱コンクール等の集団で競う活動においては、リーダーを中心に集団としての結束を高め、互いを高めあう態度や相手を思いやる気持ち等の育成に努めてきました。また、こうした態度が一時的なものとして終わらないよう、「すべてにおいてNo.1の学校を目指そう!」を合言葉に、学習活動と部活動において根気強く取り組むよう指導しました。学習活動においては家庭学習習慣の定着に、部活動においては挨拶の指導に力を注ぎました。

さらに、生徒会の「ペットボトルキャップ回収運動」を中心に活動を展開し、城南中学校生徒としての自覚と誇りをもつことをねらいとして取り組みました。ペットボトルのキャップを集め、アフリカの

子どもたちのためのワクチンに換える運動です。その結果、校区内はもちろん市内外からの支援を得ることができ、活動に広がりができるとともに、生徒たちの活動意欲も向上が見られるようになってきました。



【商店への依頼】

## 2年次の取組

## 自国を愛し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する態度の育成

2年次は、さらに研究主題に迫るべく、国際理解を取り扱った教材の活用や体験活動の充実に努めました。

道徳の時間においては、外国の文化や生活、外国で活躍する日本人等を扱った教材を積極的に活用しまし



【中国人留学生との交流会】

た。また、外国人留学生や宇和島市で生活する外国人の方々等との交流も度々行いました。それぞれの国の人々のものの考え方を理解することや異文化に触れるとともに、日本の文化や生活等も紹介していただきました。さらに、JICAや各種NPO法人等で開発途上地域の経済や社会の発展に寄与し、国際協力の促進を目的として活躍している職員を講師として招へいしました。各国の文化や生活、そこで暮らす人々の考え方、具体的な活動状況等を聞き、生徒たちの視野を、徐々に世界へと広げていきました。

生徒たちは、こうした二年間にわたる学習をとおり、国際理解や世界の平和や発展に寄与するため自分たちにできることは何かを考える等、現実的な課題として取り組み始めています。さらに、その根底には、世界中で生活するすべての人々を、地球上で暮らす一人の人間として尊重し、認め合うことが大切であることに気付き始めているようです。

今後も、こうした活動を継続し、子どもたちの視野がより広い世界へ広がることを願っています。

城南中学校ホームページ

<http://uwajima-jonan-j.esnet.ed.jp/html/>

## 教育情報

No.4

日文教育資料

平成26年(2014年)1月1日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD00000

発行所

日本文教出版 株式会社  
<http://www.nichibun-g.co.jp/>

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16  
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14  
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市中区葵1-13-18-7F・B  
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1  
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690